



▶ 環境マネジメントシステム (ISO14001) の取り組み

ISO14001 審査登録機関の変更

2004年1月に本社事務所がISO14001を審査登録機関のオリオン・レジストラージャパンにて認証取得し、同年12月に静岡本部、2005年9月に北陸本部、12月に関東本部の各本部で認証取得しました。2008年8月にはユースストアと合併し、店舗数を拡大をしていますが、2009年11月19日付けにて、審査登録機関を株式会社日本環境認証機構へと移転し、2010年1月13日付けにて更新を完了しました。



ISO審査状況



ISO内部監査

内部監査は、ユニーの「環境マネジメントシステム」がISO14001の要求事項を満たして構築されていることの確認をしています。またISOの環境活動の仕組みが業務運営の中であまり負担にならず、有効に継続して運用していることを点検していきます。「エコ・ファーストの約束」達成についても、監査の立場から注意深く観察をしていきたいと考えています。



監査部長
服部久男

継続的な改善

- 省エネ活動…空調温度規制
照明の個別管理
クールビズ・ウォームビズ
- 省資源…コピー用紙の使用削減
- 廃棄物の削減とリサイクル推進
- 本社周辺の清掃活動



ゴミ0運動いなざわ

ISO14001 推進のための社員教育

環境方針、環境目的目標や環境マネジメントシステム (EMS) の理解を深め、環境活動を実践していくために、適用範囲の全従業員と関係する人々に教育を行いました。

今年度は、全社での環境目的目標である「省エネ省資源・コピー用紙使用削減・廃棄物削減とリサイクル推進」以外に、各部署の仕事からの環境側面に即した環境目的目標の設定と、その目標達成のための手段である「環境実施計画」について教育を実施しました。また、環境マネジメントシステムを維持していくために、内部監査を行う内部監査員を養成しています。



ISO内部監査研修



全体教育

緊急事態への対応

- 地震・消防訓練



消防訓練

環境目的目標をより具体的な本来業務から抽出

「エコ・ファーストの約束」を環境目的目標にしました。

- 食品リサイクルの推進
- レジ袋使用削減
- 段ボールの使用抑制
- エコストアの建設
- 環境教育の実施
- 容器包装リサイクルの推進
- 環境配慮商品の開発及び販売拡大

